

第5次船橋市地域福祉計画策定のための 団体アンケート ご協力をお願い

皆様には、日頃より地域福祉の推進にご協力いただきありがとうございます。

船橋市では、地域住民がお互いに助け合い、支え合い暮らしていく「地域共生社会」の構築を目指して、市民、関係機関・団体および行政が一体となり「第5次船橋市地域福祉計画」を令和9年3月に策定する予定です。

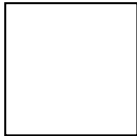
このアンケートは、地域福祉の担い手である皆様を対象に、地域活動をしているうえでの実態や課題、ご意見等を伺い、計画策定に反映していきたいと考えております。

お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、率直なご意見をお聞かせくださいますよう、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

令和7年10月

船橋市長 松戸 徹

【ご回答に際してのお願い】

1. 回答期限は令和7年10月 日()です。
2. このアンケートは、紙媒体(本アンケート用紙)またはWEBの回答ページよりご回答いただけます。
3. WEBからご回答いただく場合は、下記URLもしくは右記二次元コードによりご回答ください。
<http://> 
4. 紙媒体(本アンケート用紙)でご回答いただく場合は、同封の「返信用封筒(切手不要)」でポストにご投函または直接福祉政策課までご提出ください。
5. 回答については、令和7年10月1日現在の状況でご記入ください。率直なご意見をご記入いただくことにより正確な調査となりますので、ありのままをご回答ください。
6. 紙媒体でご回答いただく場合、選択式の回答は番号を○で囲んでください。
7. 「その他」や自由記入欄はできるだけ具体的にご記入ください。
8. この調査についてのご不明な点やご質問については、下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ】

船橋市 健康福祉局 福祉サービス部 福祉政策課 政策推進係

〒273-8501 船橋市湊町 2-10-25

TEL:047-436-2383 FAX:047-436-2409

E-mail fukushiseisaku@city.funabashi.lg.jp

※団体を運営する代表者個人として意見をご記入ください。構成員の意見を取りまとめて
回答いただく必要はありません

貴団体について

問1. 貴団体の種類を教えてください。（○は1つだけ）

- | | | |
|-------------|--------------|----------------------|
| 1. 町会・自治会 | 2. 地区社会福祉協議会 | 3. 民生児童委員協議会 |
| 4. 老人クラブ連合会 | 5. ボランティア団体 | 6. 助け合いの会 |
| 7. PTA | 8. スクールガード | 9. その他（ ） |

（問1. で「5」～「9」のいずれかにお答えの団体に）

問2. 貴団体の活動人数（名簿登録者数）を教えてください。（○は1つだけ）

- | | | | |
|----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 1～19人 | 2. 20～49人 | 3. 50～99人 | 4. 100人以上 |
|----------|-----------|-----------|-----------|

（問1. で「5」～「9」のいずれかにお答えの団体に）

問2-1. 貴団体は活動を始めて何年になりますか。（○は1つだけ）

- | | | |
|-----------|----------|-----------|
| 1. 1～5年 | 2. 6～10年 | 3. 11～15年 |
| 4. 16～20年 | 5. 21年以上 | |

問3. 貴団体のある地区を伺います。(○は番号に1つだけ)

番号	ブロック名	地区名	住所
1	南部	宮本	宮本1～9丁目、市場1～5丁目、東船橋1～7丁目、東町、駿河台1～2丁目
		湊町	本町3丁目、湊町1～3丁目、浜町1～3丁目、若松1～3丁目、日の出1～2丁目、西浦1～3丁目、栄町1～2丁目、潮見町、高瀬町
		本町	本町1～2丁目、本町4～7丁目
		海神	南本町、海神1～6丁目、海神町2～3丁目、海神町東・西・南各1丁目、南海神1～2丁目
2	西部	葛飾	山野町、印内町、葛飾町2丁目、本郷町、古作町、古作1～4丁目、西船1～7丁目、印内1～3丁目、東中山1～2丁目
		中山	二子町、本中山1～7丁目
		塚田	旭町、行田町、行田1～3丁目、山手1～3丁目、北本町1～2丁目、前貝塚町、旭町1～6丁目
		法典	丸山1～5丁目、上山町1～3丁目、馬込町、馬込西1～3丁目、藤原1～8丁目
3	中部	夏見	夏見1～7丁目、夏見町2丁目、夏見台1～6丁目、米ヶ崎町
		高根・金杉	高根町、金杉町、金杉1～9丁目、金杉台1～2丁目、緑台1～2丁目
		高根台	高根台1～6丁目
		新高根・芝山	芝山1～7丁目、新高根1～6丁目、高根台7丁目
4	東部	前原	前原東1～6丁目、前原西1～8丁目、中野木1～2丁目
		二宮・飯山満	二宮1～2丁目、飯山満町1～3丁目、滝台町、滝台1～2丁目
		薬円台	薬円台1～6丁目、薬園台町1丁目、七林町
		三山・田喜野井	三山1～9丁目、田喜野井1～7丁目、習志野1～5丁目
		習志野台	習志野台1～8丁目、西習志野1～4丁目
5	北部	二和	二和東1～6丁目、二和西1～6丁目
		三咲	三咲町、三咲1～9丁目、南三咲1～4丁目
		八木が谷	八木が谷町、咲が丘1～4丁目、みやぎ台1～4丁目、八木が谷1～5丁目、高野台1～5丁目
		松が丘	松が丘1～5丁目
		大穴	大穴町、大穴南1～5丁目、大穴北1～8丁目
		豊富	小室町、小野田町、大神保町、神保町、車方町、鈴身町、豊富町、金堀町、楠が山町、古和釜町
		坪井	坪井町、坪井東1～6丁目、坪井西1～2丁目

ボランティア活動・市民活動・地域福祉活動等について

問4. 貴団体は現在、どのような活動をしていますか。(〇はいくつでも)

1. 地域での集会や行事の運営・手伝い(町会・自治会活動含む)
2. 学校における教育支援活動(PTA 活動含む)
3. 高齢者支援に関する活動
4. 障害者支援に関する活動
5. 福祉施設等への慰問活動
6. 福祉施設等への行事・業務の手伝い
7. 通学・通所・通院等の付き添い
8. 炊事・洗濯・買い物などの家事援助
9. 子育て支援に関する活動
10. 健康づくり・医療に関する活動
11. 地域の清掃・美化や地域おこしに関する活動
12. 地域でのサロン、ミニデイサービス等の運営
13. 見守り・声かけ・話し相手
14. スクールガードなど子供の安全対策、見守り活動
15. 防犯・交通安全に関する活動
16. 消防・防災・災害支援に関する活動
17. 福祉施設、福祉団体等への寄付
18. 教育問題・趣味や生涯学習の指導・学術研究の振興に関する活動
19. 各種スポーツ指導に関する活動
20. 青少年育成・支援に関する活動
21. 自然環境保護に関する活動
22. 公害防止・リサイクルに関する活動
23. 芸術・文化振興や伝統継承に関する活動
24. 国際交流・国際協力に関する活動
25. 消費者問題に関する活動
26. 人権に関する活動
27. 平和の推進に関する活動
28. その他()
29. 活動は行っていない ⇒ アンケートは以上です。ありがとうございました。

問5. 貴団体の活動のなかで、日ごろ感じていることや困っていること、悩んでいることはありますか。(〇はいくつでも)

1. 実際に活動している人が少ない
2. 参加者に男女の偏りがある
3. いつまで活動が続けられるか自分の健康が心配
4. ボランティアグループの世話をしてくれる人やリーダーが不足している
5. 活動に参加した人が長続きしない
6. 行政等の財政支援が不十分
7. ボランティアグループに新しい参加者がいない
8. グループメンバーの高齢化
9. 活動する場所がない
10. 資料などを保管する場所がない
11. 活動費や交通費などの負担がかかる
12. ボランティアや活動についての情報が少ない
13. 活動をしているグループ内の人間関係が難しい
14. 地域で活動している人・グループ との連携・交流が少ない
15. ボランティア活動をするために時間を費やすことに家族の賛成が得られない
16. ボランティア活動中の事故が不安
17. 行政が市民やボランティアに頼りすぎている
18. 市民やボランティアの取り組みだけではどうすることもできない問題が多い
19. 研修・訓練・学習の機会が少ない
20. その他 ()
21. わからない
22. 特にない

問6. 活動の担い手を増やす工夫として、貴団体が現在していることはありますか。(〇はいくつでも)

1. 研修会、講演会などで呼びかける
2. 会報・チラシなどを通じて活動を知らせる
3. イベントなどを行い、呼びかける
4. 知り合いを増やし、声かけをする
5. 関心のありそうな人に声かけをする
6. 仕事を退職した人に声かけをする
7. 子育てが終わった人に声かけをする
8. 市の広報や「ふなばし市民活動情報ネット」や市民活動サポートセンターを活用して呼びかける
9. 現在のメンバーで活動を続け、増やすつもりはない
10. 特にない
11. その他 ()

問7. 貴団体が行ったボランティア確保の方策で成功した事例がありましたら、ご自由にお書きください。

問8. 活動の担い手を増やすために必要な行政の支援はありますか。(○はいくつでも)

1. 現役世代の参加を促進するため、労働時間を短縮できるよう事業所に呼びかける
2. 現役世代の参加を促進するため、ボランティア休暇を取得できるよう事業所に呼びかける
3. 活動への財政的な支援を充実する
4. 活動についての相談など人的支援
5. ボランティア募集や活動の周知など、広報や「ふなばし市民力発見サイト」や市民活動サポートセンターを充実する
6. 地域福祉・ボランティア活動の必要性の周知、学習会等の開催
7. 特にない
8. その他 ()

問9. 今後、貴団体が活動をする上で連携を深めたい相手を教えてください。
(○はいくつでも)

- | | | |
|---------------------------------------|--------------------|---------------------|
| 1. 町会・自治会 | 2. 市社会福祉協議会 | 3. 地区社会福祉協議会 |
| 4. 民生委員・児童委員 | 5. 地域包括支援センター | 6. 在宅介護支援センター |
| 7. 基幹相談支援センター ふらっと船橋・障害者(児)総合相談窓口 | | |
| 8. こども発達相談センター 9. 子育て世代包括支援センター「ふなここ」 | | |
| 10. 家庭児童相談室 | 11. 保健と福祉の総合相談窓口 | さーくる |
| 12. 消費生活センター | 13. 行政担当部署 () | |
| 14. 警察・消防 | 15. 介護保険サービス事業所・施設 | |
| 16. 障害福祉サービス事業所・施設 | 17. 保育所・幼稚園・認定こども園 | |
| 18. 小学校・中学校・高等学校 | 19. PTA・子ども会 | |
| 20. 老人クラブ | 21. 自主防災組織 | 22. ボランティア団体・NPO 団体 |
| 23. 病院・医療機関 | 24. 商店・企業 | 25. 当事者組織 |
| 26. 社会福祉法人 | 27. 弁護士等司法関係者 | 28. わからない |
| 29. その他 () | | |
| 30. 特になし | | |

(問9で「28」「30」以外に○をつけた方にお伺いします)

問9-1. 連携を深めたいと思っている理由をお書きください。(自由記述)

問 10. 今後、ボランティア活動や市民の自主的な活動等を活性化するためには、活動をするうえで何が必要だと考えますか。（〇は主なもの5つ以内）

1. 学校教育で重要性を教える
2. 社会教育で啓発活動を行う
3. 行政主導で組織づくりを進める
4. 若年層の参加を促進する
5. 元気な高齢者の参加を促進する
6. 地域内の交流を深めて良好な人間関係を構築し、自然な共同意識の高まりを促進する
7. 身近な地域で気軽に参加できるボランティア団体等を育成する
8. 友人同士で参加できるような活動を増やす
9. 興味や関心を持てるような内容にする
10. 活動が負担にならないよう拘束時間を短くする
11. 体力的に負担の少ない活動内容にする
12. 組織内の人間関係が負担にならないようにする
13. 活動の中で趣味や特技、専門知識を活かせるようにする
14. 交通費等の実費が支払われるようにする
15. 少額でも報酬が支払われるようにする
16. ポイント制や地域通貨など、活動に対する自分自身へのメリットとなるような制度を設ける
17. 活動資金や物品等を補助する
18. 身近な地域に活動拠点を設置する
19. 事故があったときの補償体制を整備する
20. 知識・技術を有する人材やリーダーの養成を促進する
21. 事業内容等に関するPRを拡充する
22. どこでも、頻繁に、わかりやすい情報が得られるようにする
23. 企業に対して労働時間の短縮やボランティア休暇・休職制度等の普及を要請する
24. 企業に対して資金援助を要請する
25. 各ボランティア組織間の連携を強化する
26. 町会・自治会加入を促すような取り組みを強化して、住民の地域福祉活動への参加意識を向上する
27. 既存のボランティア団体に新しいボランティアが入るよう、役員や代表の交代制度をつくる
28. その他（ ）
29. わからない

問 11. 貴団体の活動を通して、住んでいる地域で、課題と感じていることはありますか。
(〇はいくつでも)

1. ひとり暮らしの高齢者に対する支援が少ない
2. 高齢者夫婦世帯に対する支援が少ない
3. 障害者・児がいる世帯に対する支援が少ない
4. 母子・父子世帯に対する支援が少ない
5. 生活に困っている世帯に対する支援が少ない
6. 子供の非行・いじめ
7. 児童・高齢者・パートナーなどに対する虐待・暴力
8. 孤独死
9. ニート・ひきこもり
10. ボランティアや福祉に関心のある人が少ない
11. 町会・自治会や地域団体の役員のなり手が少ない
12. 若い人と高齢者との交流が乏しい
13. 介護が必要な人のための入所施設がない
14. 子供を持つ親同士の交流の場が少ない
15. 住民相互のまとまりや助け合いが乏しい
16. 段差などがありバリアフリーになっていない
17. 安心して歩ける歩道が少ない
18. 子供が安全・安心に過ごせる場所が少ない
19. スポーツをする場所や機会が少ない
20. 買い物が不便
21. 交通が不便
22. 働き口や仕事が少ない
23. 自分の住む地域に関心がない人が多い
24. ゴミ出しなどのルールが守られない
25. オートロックのマンションなどが増え、交流・接触が難しい
26. その他 ()
27. 特にない

問 12. 福祉関連の分野で特に行政に力を入れて取り組んでほしい施策は何ですか。

(○は主なもの3つ以内)

1. 既存組織のネットワーク化（連携・協力体制の確立、内部情報の共有化整備）
2. 地域資源の活用（人的資源・公共施設・民間施設の活用）
3. ボランティアや福祉に関する教育・体験（学校教育、社会教育の充実）
4. ボランティア団体やNPO等への支援体制の拡充（設立・運営の支援）
5. 住民相互のまとまりや助け合い（地域交流事業の促進支援）
6. 生きがいの創造（生涯学習の推進、サークル活動の支援、起業・就業の支援、動物と共生することのできる街づくり）
7. 健康の保持・増進を図る健康づくり
8. 地域情報の発信・交換
9. 社会福祉協議会と地区社会福祉協議会の充実・強化
10. サービスの受け手に対して、ボランティア活動の理解を深める
11. 福祉関連の優良事業者の育成
12. 成年後見制度利用支援や見守り体制の充実
13. 災害時の要援護者支援
14. その他（)
15. わからない

問 13. 地域福祉を推進する上で地域住民に求められることはどのようなことと考えますか。

(○はいくつでも)

1. 福祉に関心を持つ
2. 地域活動やボランティア活動に関心を持つ
3. 広報や社協広報紙、ホームページ等による福祉情報の取得
4. 日ごろのあいさつや声かけ等の近所づきあい
5. 地域活動への参加
6. ボランティア活動への参加
7. 福祉について学習する場への参加（福祉講演会・研修会・体験会など）
8. 住民間での見守り
9. 地域での困りごとやその解決のための話し合い
10. その他（)
11. わからない

問 14. 地域住民が集まったり、地域活動を行ったりする場所について、どのように感じますか。(○は1つだけ)

1. 足りていると感じる
2. 足りていないと感じる
3. 特に必要性を感じない
4. その他（)

(問 14 で「1」とお答えの方に伺います)

問 14-1. 主にどのような場所を日頃利用していますか。(〇はいくつでも)

- | | | |
|--------------------|---------------------|----------|
| 1. 町会・自治会館 | 2. 公民館 | 3. 児童ホーム |
| 4. 子育て支援センター | 5. 老人福祉センター | |
| 6. 老人憩の家 | 7. 図書館 | |
| 8. 公園・広場 | 9. 飲食店(レストラン・喫茶店など) | |
| 10. マンションなどの集会スペース | | |
| 11. その他(| |) |

(問 14 で「2」とお答えの方に伺います)

問 14-2. どのような居場所が足りていないと感じますか。(〇はいくつでも)

- | |
|------------------------------------|
| 1. 多世代が交流できる居場所 |
| 2. ひきこもり状態の人や不登校の方、またはそのご家族が集える居場所 |
| 3. 子供(18歳未満)が安全・安心に集える居場所 |
| 4. 妊活・妊娠・子育て中の方が集える居場所 |
| 5. 障害がある人(子供)、またはそのご家族が集える場所 |
| 6. 高齢者が集える居場所 |
| 7. 認知症高齢者等のご家族が集える居場所 |
| 8. 地域住民が気軽に話し合いなどを行うことができる居場所 |
| 9. その他(|

問 14-2 で選ばれた居場所について、具体的なイメージがありましたらご自由にお書きください。

(問 14 で「1」「2」とお答えの方に伺います)

問 14-3. どのような条件がそろった場所が居場所として魅力的だと感じますか。
(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|-------------|
| 1. 交通アクセスが良い | 2. 誰でも利用できる |
| 3. いつでも利用できる | 4. 静かに過ごせる |
| 5. お金がかからない | 6. 自然環境がある |
| 7. 地域のコミュニティ活動などが行われている | |
| 8. いろいろなイベントが行われている | |
| 9. その他(|) |
| 10. わからない | |

(問 14 で「1」「2」とお答えの方に伺います)

問 14-4. 地域住民が集まったり、地域活動を行ったりする場所について、どこで情報を得ていますか。(〇はいくつでも)

1. インターネット	2. 新聞・広報・広告等
3. 町会・自治会・マンション等の掲示板	
4. 知人・近所の人等から教えてもらう・口コミ	
5. 近所を散策して発見する	
6. その他 (	)

その他について

問 15. 貴団体は、次の相談窓口をどの程度ご存じですか。(それぞれ1つだけ〇)

	よく 知っている	ある程度 知っている	ほとんど 知らない	まったく 知らない
(1) 地域包括支援センター	1	2	3	4
(2) 在宅介護支援センター	1	2	3	4
(3) 基幹相談支援センター ふらっと船橋・ 障害者（児）総合相談窓口	1	2	3	4
(4) 障害者虐待防止センター はーぶ	1	2	3	4
(5) 子育て世代包括支援センター「ふなここ」	1	2	3	4
(6) 子育て支援センター	1	2	3	4
(7) こども発達相談センター	1	2	3	4
(8) 家庭児童相談室	1	2	3	4
(9) 地区社会福祉協議会 福祉相談	1	2	3	4
(10) 保健と福祉の総合相談窓口 さーくる	1	2	3	4
(11) ふなばし地域若者サポートステーション	1	2	3	4
(12) 在宅医療支援拠点 ふなぽーと	1	2	3	4
(13) 住まいるサポート船橋	1	2	3	4

問 15-1. 貴団体は、次の相談窓口と連携したことがありますか。(〇はいくつでも)

1. 地域包括支援センター	2. 在宅介護支援センター
3. 基幹相談支援センター ふらっと船橋・障害者(児)総合相談窓口	
4. 障害者虐待防止センター はーぶ	
5. 子育て世代包括支援センター「ふなここ」	
6. 子育て支援センター	7. こども発達相談センター
8. 家庭児童相談室	9. 地区社会福祉協議会 福祉相談
10. 保健と福祉の総合相談窓口 さーくる	
11. ふなばし地域若者サポートステーション	

12. 在宅医療支援拠点 ふなぽーと 13. 住まいるサポート船橋

(問 15—1 で○をつけられた方に伺います)

問 15—2. 連携されたときに感じたこと・ご感想があればお書きください(自由記述)

<最後に、船橋市の福祉行政に関するご意見やご要望等がございましたら、
自由にご記入ください>

以上で質問は終了です。ご協力ありがとうございました。

